

Amazia

2021年9月期 第1四半期 決算説明資料

2021年2月10日

株式会社Amazia（証券コード：4424）

Main Contents



Contents.1...

業績概要

Contents.2...

業績予想

Contents.3...

Appendix

Amazia

Contents.1

業績概要

- 2021年9月期 第1四半期 業績概要
- 業績推移 売上高/営業利益
- 2020年9期 1Q比 営業利益増減分析

2021年9月期 第1四半期 業績概要

第1四半期業績として過去最高の売上高を更新

単位：百万円

	2020年9月期 第1四半期累計期間		2021年9月期 第1四半期累計期間		前年同期比	
	金額	売上対比	金額	売上対比	増減金額	増減率
売上高	1,641	100.0%	1,890	100.0%	+248	+15.2%
売上総利益	612	37.3%	713	37.7%	+100	+16.4%
営業利益	296	18.1%	283	15.0%	▲13	▲4.6%
EBITDA	297	18.1%	284	15.0%	▲13	▲4.5%
経常利益	293	17.9%	277	14.7%	▲15	▲5.4%
四半期純利益	200	12.2%	189	10.0%	▲11	▲5.5%

当四半期の状況

【売上面】

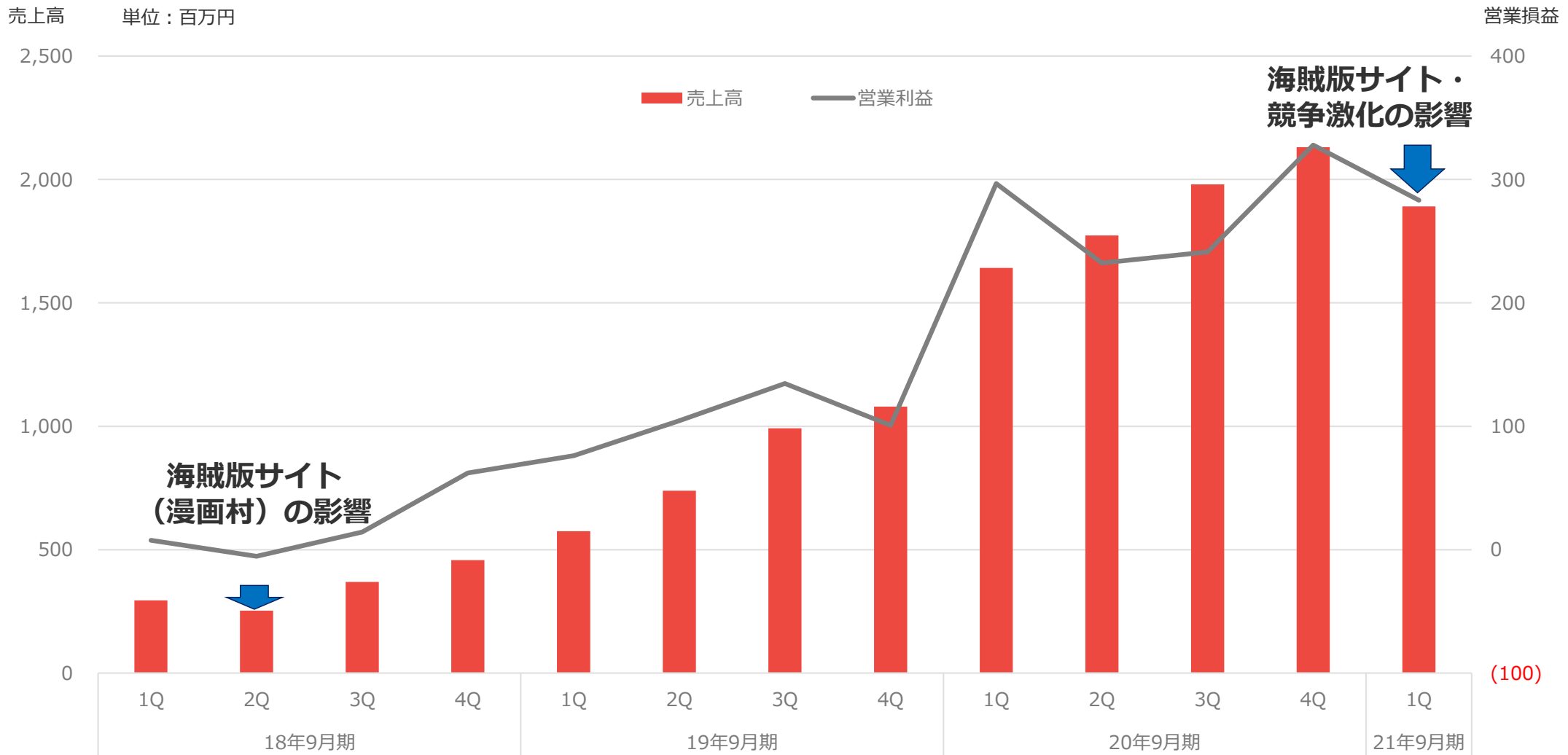
- 海賊版サイトの拡大、競争環境の激化を受け、MAUの成長に懸念はあるが、対前年同期比ではMAUが大幅に増加
- 上記要因を受け、課金収益KPI（決済率、ARPPU）が低調に推移
- ①ドル建て広告取引において、円高傾向による広告収益単価の下落影響と②新型コロナウイルス感染症の影響により広告市況が悪化し、現在は回復基調にあるものの、前年同四半期までは戻らなかった結果、広告収益KPI（一日当たり広告収益）が低調に推移

【利益面】

- 計画通り、積極的に広告宣伝を行った結果、売上高広告宣伝費比率が17.3%に増加（前1Q14.7%）したため、営業利益率が悪化

業績推移 売上高/営業利益

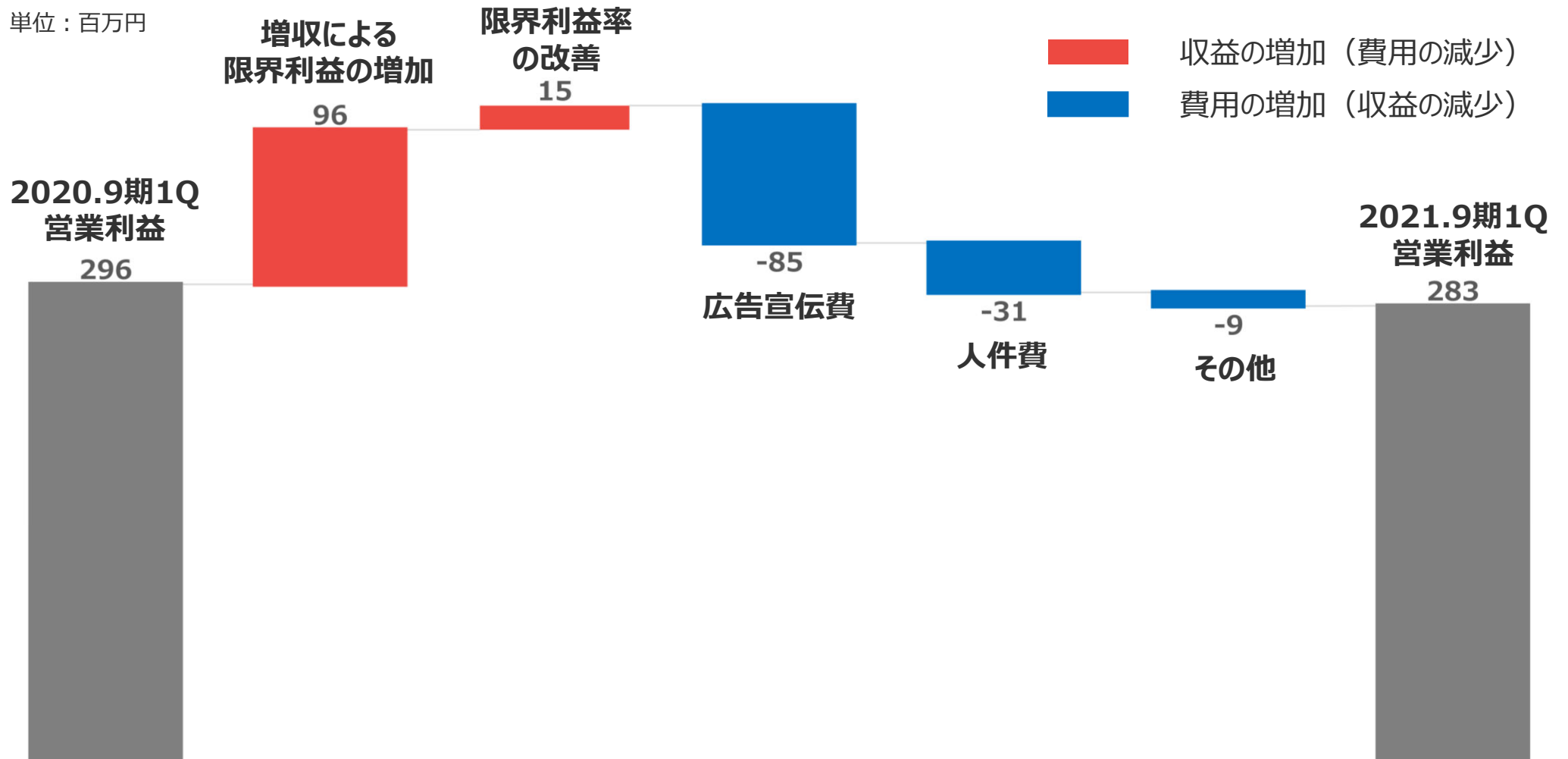
海賊版サイトの利用者拡大と競争環境の激化による影響で、漫画村閉鎖後では、初の前四半期比でマイナス成長（前4Q比 売上高▲11.3%、営業利益▲13.6%）



2020年9期1Q比 営業利益増減分析

海賊版サイトの拡大・競争環境が激化している中で、マンガBANG!の更なる成長に向けて、先行投資（広告宣伝費・人件費等）を増加させた結果、前年同期比で営業利益が▲13百万円減少

単位：百万円



Amazia

Contents.2

業績予想

- 業績達成状況
- 成長戦略の進捗状況
- 2021年9月期 第2四半期以降の見通し
- 海賊版サイトの動向と対策

業績達成状況

積極的な広告宣伝により、MAUは計画達成した一方、計画策定時よりも海賊版サイトが拡大した影響と円高傾向による広告収益単価の下落により、課金収益・広告収益の各KPIが計画未達

単位：百万円

	2021年9月期			
	第1四半期	第2四半期累計	進捗率	通期
	実績	計画		計画
売上高	1,890	4,209	44.9%	9,068
営業利益	283	555	51.0%	900
経常利益	277	554	50.0%	899
当期純利益	189	384	49.2%	624

計画比における「マンガBANG!」各KPIサマリー

MAU	広告収益		課金収益	
	一日当たり広告収益	利用日数	決済率	ARPPU
○ 計画を上回り推移	△ 計画を下回り推移	△ 計画を若干下回り推移	△ 計画を若干下回り推移	△ 計画を下回り推移

成長戦略の進捗状況 1 / 2

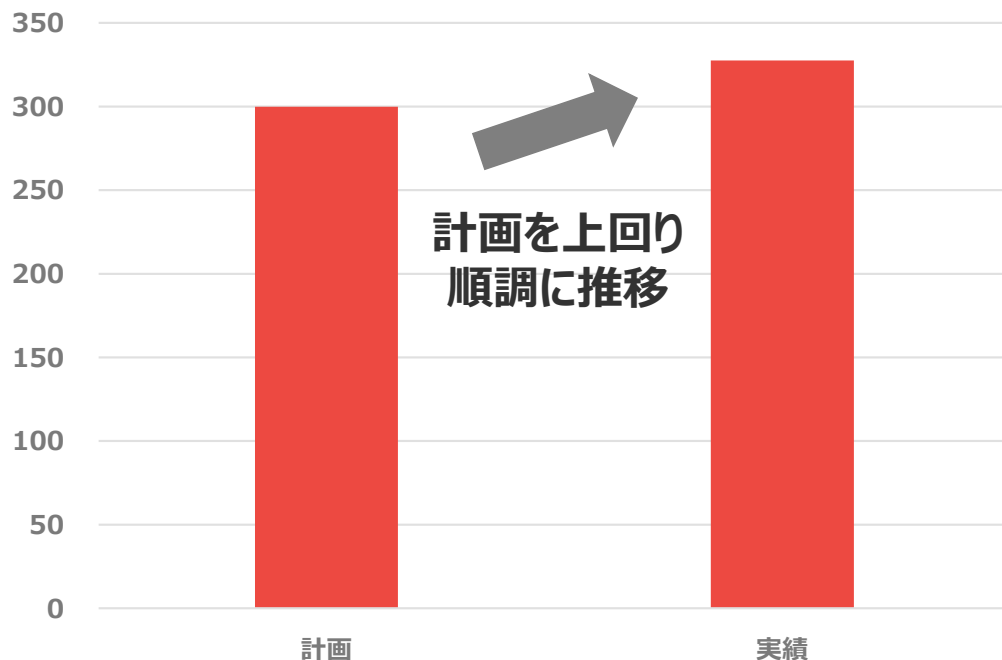
01 マンガBANG!の再成長

積極的なマーケティング活動

- 大規模なWeb広告出稿を実施するために、広告クリエイティブの制作本数を増加
- マスメディア向けの広告出稿の検討開始

広告宣伝費(2021/9期 1Q)

単位：百万円



02 オリジナル作品の体制強化

マンガ制作チームの拡大

- 異世界転生系の小説のコミカライズを中心に 14作品配信中 + 6 作品制作中

外販の強化

- 2020年10月に2作品の紙出版（各初版2万部）開始
- 2020年9月末より、電子書籍ストアで販売開始
大手電子書店から徐々に取引数を増加し、収益化を目指す



成長戦略の進捗状況 2 / 2

03 M&Aの積極化

マンガアプリ関連事業のM&A

- コンテンツホルダー及びWeb電子書籍サービスの買収を積極的に推進
 - M&A戦略の策定と目的の明確化
 - 情報収集と候補者リストアップの準備を進める

M&A戦略の策定
・目的の明確化

リストアップ
と絞り込み

具体的に
交渉開始

M&A実施

PMI

新規事業のM&A

- 既存のユーザー基盤と親和性の高いスキマ時間向けのインターネットサービスの買収を積極的に推進
 - 対象サービス範囲についての、社内検討を実施し、その目的の明確化
 - 情報収集の方法を検討開始

04 Palfe、海外サービスの展開

Palfeの拡大

- Google Play ベストオブ 2020 日本版エンターテインメント部門において、大賞を受賞
- 取引先出版社の拡大及び各種KPI改善施策を実施中

海外サービス

- 2020年10月16日にアニメ・マンガ関連英語ニュースサイト「Tokyo Anime News」をリリース
- 2021年3～4月に、北米向けに当社が制作しているオリジナルマンガを無料配信するマンガアプリをリリース予定



2021年9月期 第2四半期以降の見通し

海賊版サイトの今後の動向（更なる拡大、閉鎖）による影響を大きく受ける可能性はあるが、マンガBANG!の再成長に向けて、広告宣伝費を積極的に投下して、売上拡大を目指す

当社を取り巻く環境

売上貢献 要因

- 積極的な広告宣伝費の投下により、ユーザー数が増加見込み
- 広告枠を増設する作品数が増加見込み
- 「マンガBANG!」プレミアムコーナーにおいて、継続的に人気タイトルを新規配信
 - 頭文字D、夜王、沈黙の艦隊等

費用増加 要因

- 「マンガBANG!」拡大のために、積極的に広告宣伝費を投下予定
 - 下期に、マスメディア向けの広告実施予定
- 海外（北米中心）向けのマンガアプリにかかる先行投資
 - 開発費、翻訳費等が発生（2021年9月期2Q以降で12百万円の赤字計上予定）

海賊版サイトの動向と対策

2020年7月頃より複数の海賊版サイトの利用者が再び増加しているため、課金収益KPIが悪化
法整備は2020年10月リーチサイト違法化、2021年1月著作権法改正と整いつつある

海賊版サイトの動向

主な過去の海賊版サイト（閉鎖済）

- 2017年1月～5月 : FreeBooks
- 2017年5月～2018年4月 : 漫画村
- 2019年5月～9月 : 星のロミ

2021年2月現在、拡大している海賊版サイト

- 2020年5月～ : ベトナム発サイトを中心とした複数サイト
- 2020年7月以降、アクセス数が更に増加傾向

海賊版サイトに対する対策

政府による対策（法整備）

- 2020年10月 : リーチサイト違法化
- 2021年1月 : 著作権法の改正
- 書籍も違法DL規制対象（利用者も取締り可能）

出版・通信業界による対策

- 政府、出版業界が、インターネットプロバイダ、通信業界と連携し、サイトブロッキング以外の海賊版サイト閲覧禁止策についても検討)
- DMCA（デジタルミレニアム著作権法）クレームによる検索結果から削除対応が進む
- 海外のサーバー事業者に対して削除要請に対する対応の早期化が進む 等

※海賊版サイトが閉鎖される、海賊版サイトの利用者が更に増加する等の動向により、当社業績への影響等、開示すべき事象が生じた場合は、速やかに適時開示等で開示いたします。

Amazia

Contents.3

Appendix

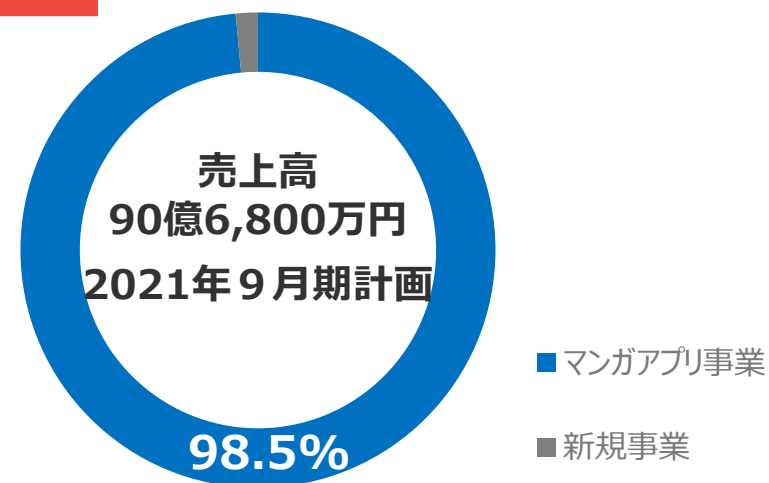
- 会社概要
- 四半期業績推移
- 年間業績推移
- 市場動向

会社概要

社名	株式会社Amazia（アメジア）
本社住所	東京都渋谷区南平台町2-17 日交渋谷南平台ビル2階
設立	2009年10月
代表社名	代表取締役社長 佐久間 亮輔
事業内容	「マンガBANG!」の企画・運営 「Palfe」の企画・運営 オリジナル漫画の制作
役員構成	取締役5名（内、社外2名） 監査役3名（内、社外3名） 監査役会設置会社
従業員数	25名（役員8名、アルバイト7名除く）

2020年12月31日現在

総資産	28億5,809万円
資本金	3億5,959万円
発行済株式数	6,725,800株
時価総額	148億2,366万円
単元株数	100株
上場市場	東証マザーズ（証券コード4424）



四半期業績推移

単位：百万円(百万円未満切り捨て)

	19/9期				20/9期				21/9期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	575	739	992	1,079	1,641	1,772	1,979	2,130	1,890
変動費(※1)	328	411	601	652	1,008	1,063	1,241	1,295	1,146
広告宣伝費	108	147	178	235	242	353	358	360	327
人件費(※2)	33	40	44	54	51	78	88	86	82
その他	28	35	32	37	42	45	49	59	50
営業利益	76	104	134	100	296	232	241	327	283
経常利益	62	101	133	99	293	231	236	323	277
当期純利益	53	73	92	83	200	156	158	234	189

※1 変動費は、仕入高（著作権料、プラットフォーム手数料）、【製】賃借料（サーバー代）

※2 採用費含む

年間業績推移

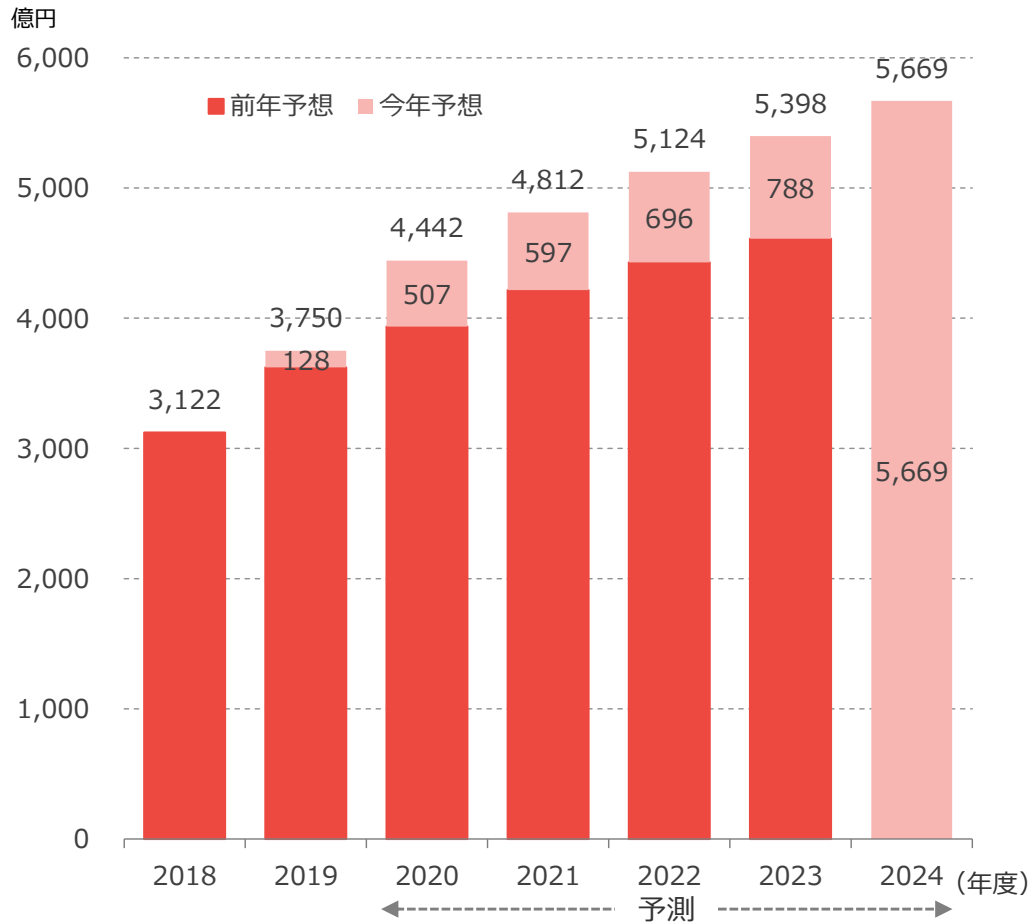
		第7期 2016年9月期	第8期 2017年9月期	第9期 2018年9月期	第10期 2019年9月期	第11期 2020年9月期	第12期計画 2021年9月期
売上高	(千円)	389,321	1,171,086	1,375,500	3,386,580	7,524,525	9,068,000
経常利益又は経常損失 (△)	(千円)	△18,733	△27,321	77,337	396,443	1,084,693	899,000
当期純利益又は当期純損失 (△)	(千円)	△19,711	△29,254	94,951	303,027	750,264	624,000
資本金	(千円)	84,347	153,347	161,472	338,524	356,089	(未開示)
発行済株式総数	(株)	1,392	14,840	3,018,000	3,314,100	6,710,200	
純資産額	(千円)	88,185	196,931	308,132	965,007	1,800,970	
総資産額	(千円)	202,403	410,025	565,159	1,613,255	3,106,918	
1株当たり純資産額	(円)	15.84	33.18	51.05	145.60	260.87	92.84
1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△)	(円)	△3.54	△5.00	15.91	46.77	112.33	
自己資本比率	(%)	43.6	48.0	54.5	59.8	56.3	
自己資本利益率	(%)	△20.1	△20.5	37.6	47.6	55.3	
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	9,501	△32,111	53,988	324,928	849,901	(未開示)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△11,136	△6,887	△9,006	△58,918	△25,969	
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	△4,956	126,599	13,095	334,596	30,215	
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	93,499	181,099	239,177	839,783	1,693,930	
従業員数〔外、平均臨時雇用者数〕	(名)	1 〔-〕	10 〔1〕	12 〔1〕	16 〔2〕	25 〔3〕	

1. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
2. 2017年3月15日付で普通株式1株につき10株、2018年9月1日付で普通株式1株につき200株、2020年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。第7期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純損失を算定しております。
3. 第7期から第11期の財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、EY新日本有限責任監査法人により監査を受けております。
4. 従業員数は就業人員（退職者を除く）であり、臨時従業員数（アルバイト含む。業務委託社員を除く。）は、年間平均雇用人員（1日8時間換算）を〔外書〕に記載しております。

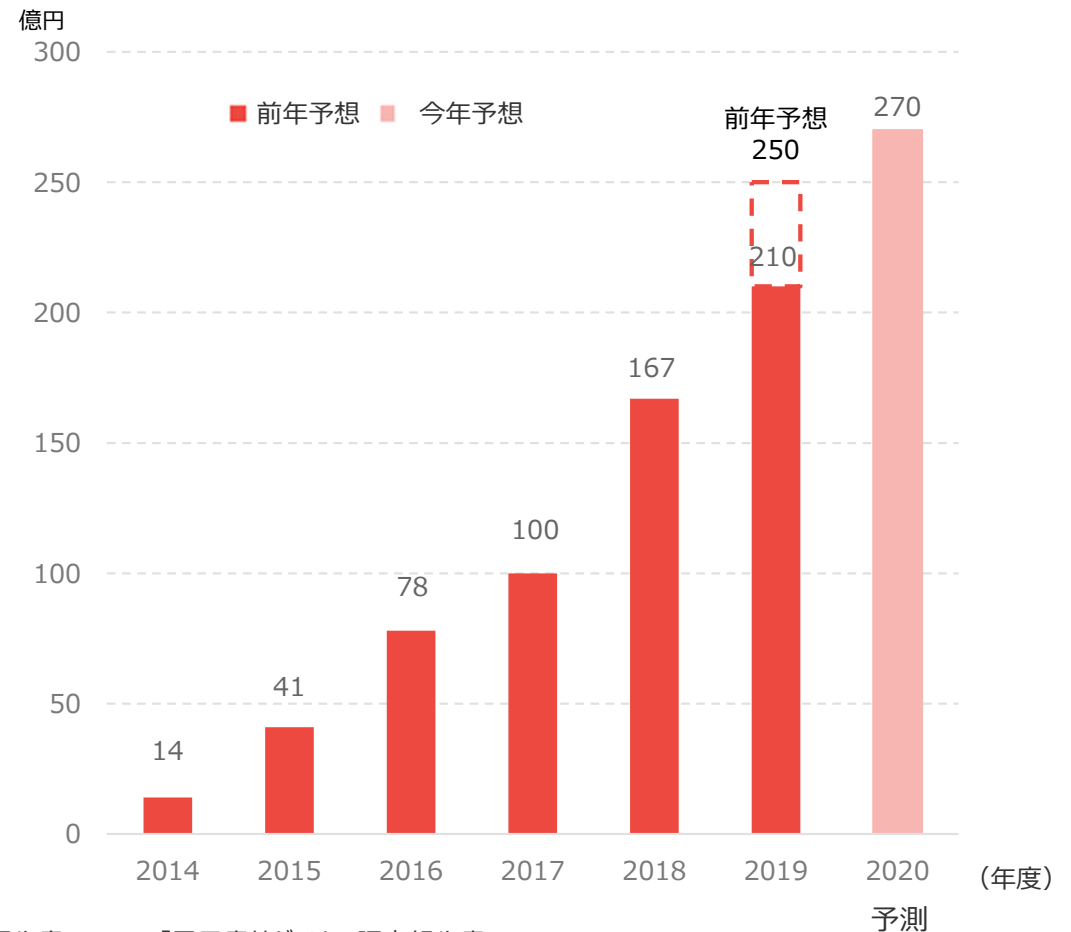
市場動向

2019年度の成長実績を受け、電子出版市場の2020年度以降の将来予測が上昇

電子出版市場（電子書籍+電子雑誌）



マンガアプリ広告収益市場



出所：インプレス総合研究所「電子書籍ビジネス調査報告書2019」、「電子書籍ビジネス調査報告書2020」

ディスクレームー

- 本資料に記載いたしました認識、戦略、計画などのうち、見通しは歴史的事実ではなく不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。
- 実際の業績に影響を与える重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。
なお、業績に影響を与える重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
- 本資料は、公認会計士又は監査法人の監査・四半期レビューの対象外です。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは百万円単位で切捨表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社に関する情報以外は、一般に公知の情報に依拠しています。

【用語集】

- MAU (Monthly Active Users) : 月間アクティブユーザー
- ARPU (Average Revenue Per User) : 1ユーザーあたりの平均売上
- ARPPU (Average Revenue Per Payed User) : 課金ユーザー一人あたりの平均売上